

● 2019年度4月入学（博士後期課程）

その1：多文化・多言語化する現代社会において、日本語教育はどうあるべきか、あなたの意見を具体的に述べなさい。

その2：次のA)～J)の中から1問を選択して答えなさい。

- A) 日本国籍者の子どもに対する日本語教育の背景と課題について、あなたの課題を述べなさい。
- B) 日本語教育の研究と実践において、対照言語学が果たす役割について具体的に述べなさい。
- C) 日本語教育学が経験科学として位置づけられるために、満たすべき条件について具体的に述べなさい。
- D) 日本で生活する成人日本語学習者の学習阻害要因とその理由をあげ、日本語教育の立場からそれに対応できるか、あなたの考えを述べなさい。
- E) 社会における言語は、どのように計画することができるか。その手法と課題を述べなさい。
- F) 学習者の主体的・協働的な学びである、アクティブ・ラーニングについて、ICT（情報通信技術）を活用した反転授業を例に、あなたの考えを述べなさい。
- G) 「付随的語彙学習」の意義と方法について、具体例をあげてあなたの意見を述べなさい。
- H) 「日本語の教室で展開される「日本語の授業」に参加しなくても、自分で（ひとりで）日本語は学べる」という意見に対するあなたの考えとそのように考える理由を述べなさい。
- I) 日本語教育とコミュニケーション教育との関係をどのように捉えるか、具体例をあげて論じなさい。